

駒ヶ根市誌古代・中世編、別編年表 目次

刊行にあたって……………駒ヶ根市長 中原 正純

凡 例

第一章 伊那谷の古代……………一

第一節 伊那郡成立以前の伊那谷……………三

一 伊那谷と大和政権……………四

(一) 畿内文化の波及……………四

前方後円墳築造の拡がり 4

史書にみられる大和政権の征服事業 6

下伊那における前方後円墳の築造 7

高岡一号古墳とその周辺 10

上伊那における松島王墓おおはか古墳の築造 12

群集墳の築造 13

(二) 部民制……………一五

金刺舎人・他田舎人	16
伊那の部民	18
伊那・伊那部の地名とイナ(べ)氏	19
郡名に残るイナ	21

第二節 律令時代の伊那郡……………三

一 科野国伊奈評……………三

伊奈評	23
-----	----

二 信濃国伊那郡……………三五

(一) 奈良・平安時代の信濃国……………三五

信濃国と信濃国司	25
----------	----

(二) 諏訪国への編入……………二七

諏訪国	27
諏訪国の建置・廃国事情	27

(三) 伊那郡……………二九

『倭名類聚鈔』等にみる伊那郡	29
伊那郡司	30

伊那郡衙 <small>ぐら</small>	31
伊那・諏訪の郡境	32

三 伊那郡の諸郷……………三五

(一) 『倭名類聚鈔』記載の伊那郡五郷……………三五

律令制下の郷	35
伊那郡五郷	36
小村郷	38

四 市域における古代(奈良・平安時代)集落……………四〇

市域に残る集落址 41

第三節 律令時代の農民負担……………

四七

一 律令農民の諸負担……………

四七

租庸調と雑徭 48 租穀・調庸物の用途と小村郷交易布 49

軍団兵士と防人 52

二 蝦夷経営と伊那郡……………

五〇

輔衆郷は俘囚郷か 57

補記・『諏方大明神画詞』にみる坂上田村麻呂伝承……………

五九

第四節 古代の交通・文化と伊那郡……………

六二

一 古代の東山道……………

六二

東山道の諸駅 64 伊那郡の駅家 66 賢錐駅址 68

宮田駅址 69 市域の駅路推定コース 71

在地史料にみられる大道と古道 72 駅路と大道・古道の関係 75

宮田駅以北の駅路 80 伊那郡の牧 80

二 古代の宗教……………

八三

1 神祇信仰……………

八四

式内社にみる伊那郡 84	阿智神社系の神と大御食神社 85
2 仏教の地方普及……………	八七

平安新仏教と伊那郡 87

第二章 中世の伊那郡…………… 六九

第一節 中世形成期の伊那郡…………… 九一

一 律令制郡郷の改編と中世的郷村の成立……………	九二
--------------------------	----

(一) 律令制社会の変容……………	九二
-------------------	----

律令制の変質と伊那郡 92

(二) 荘園・国衙領 <small>こまがりょう</small> の形成……………	九四
---	----

赤須郷の成立 96	赤須郷と春近公田 98
-----------	-------------

伊那郡の荘・郷と郡域の拡大 100

二 平安時代末期の争乱と伊那郡……………	一〇三
----------------------	-----

(一) 保元・平治の乱と伊那の諸族……………	一〇三
------------------------	-----

保元・平治の乱と片切氏 102

(二) 平氏政権と伊那郡……………	一〇四
-------------------	-----

平氏党菅冠者 104

	(三) 治承・寿永の乱と伊那郡	106
	「大田切郷之城」の戦い	106
	菅冠者の「城」・「館」	110
	平氏の滅亡と伊那郡	112
	第二節 鎌倉時代の伊那郡	114
	一 鎌倉幕府の成立と伊那郡	114
	(一) 鎌倉御家人・地頭	116
	1 赤須(栖)氏	116
	『尊卑分脈』等に見る赤須(栖)氏	116
	片切氏一族と赤須郷	119
	2 中沢氏	120
	「神氏系図」等に見る中沢氏	120
	諏訪氏一族と中沢郷	122
	二 承久の乱と伊那郡	123
	諏訪・片切一族の動向	124
	三 在地領主の成長	126
	(一) 中沢氏の場合	127
	1 信濃中沢氏	127
	中沢郷における中沢氏の所領	127
	一族の所領相継ぎ	130
	2 出雲中沢氏	133

	出雲国牛尾荘 133	雑掌 <small>ざつしょう</small> 経範との相論 <small>そうろん</small> 136
	出雲中沢氏における惣領と庶子 140	
(三)	赤須氏の場合	141
	赤須一族の所領争い 141	
	四 北条氏と伊那郡	142
	(一) 北条氏と伊那春近	143
	北条氏所領としての伊那春近 145	
(二)	北条氏と諏訪社	147
	諏訪社との結びつき 147	諏訪社五月会・御射山会の頭役 149
	諏訪社造営役 151	
	第三節 建武政権・南北朝時代の伊那郡	154
	一 鎌倉幕府の滅亡	154
	中先代の乱と諏訪一族 155	
	二 建武の新政	156
	赤須郷の大境証文 157	
	三 南北朝の内乱	156
(一)	信濃における南北両朝の対立	156

1	内乱初期の伊那郡	159
2	伊那郡大徳王寺城の戦い	159
3	宗良親王と伊那郡	161
4	宗良親王と伊那郡竜東の山間部	162
5	宗良親王と伊那諸族の動向	164
6	信濃守護と伊那郡	166
7	信濃守護と伊那郡	167
8	信濃守護と伊那郡	167
9	内乱期における出雲中沢氏の動向	170
10	出雲中沢氏の動向	170
11	第四節 室町・戦国時代の伊那郡	173
12	一 信濃守護と国人	173
13	(一) 大塔合戦と春近の人々	173
14	1 大塔合戦	173
15	大塔合戦	174
16	2 春近の人々	174
17	イ 赤須孫三郎	175
18	応永元年の「赤須郷公田惣田数」証文	176
19	赤須一族の所領―春近公田―	178

	赤須一族の所領―その他の公田―	180
	ロ 上穂伊豆守	183
	上穂氏の出自	183
	上穂氏の本拠地	184
	ハ 上横厩氏の惣領	186
	上横厩氏と応永十三年の土地売券	186
3	伊那郡竜東の国人	188
	中沢郷における一揆	189
(二)	結城合戦と伊那郡の国人	191
	「結城陣番帳」にみる伊那の国人	191
二	応仁・文明期とその後の伊那郡情勢	193
1	信濃守護家の分裂と伊那郡	193
2	諏訪高遠氏の台頭	195
	諏訪高遠氏 諏訪氏の内紛	197
	中沢郷高見と中沢氏	199
	高遠氏と中沢郷	201
三	室町・戦国時代における出雲中沢(牛尾)氏の動向	203
	出雲国人牛尾氏 ☆ 戦国大名尼子氏と牛尾一族	205
	尼子氏の滅亡と牛尾一族	206
四	中世後期の郷村と諏訪社の頭役・造営役	208

(一) 郷村の発達	208
中世後期の村落	210
(二) 諏訪社の頭役	214
1 諏訪上社の花の会頭・五月会頭	214
諏訪社の花の会頭・五月会頭と赤須郷	214
2 神使御頭	215
中沢郷の頭殿・寄子	217
第五節 戦国大名武田氏と伊那郡	218
一 武田氏の伊那郡侵攻	219
武田氏の諏訪郡侵攻と高遠氏	219
伊那郡侵攻	220
下伊那侵攻	222
二 武田氏の領国支配	233
(一) 伊那郡統治	233
武田氏の統治	223
(二) 国人・地侍統制	237
家臣団編成	227
赤須頼泰・上穂為光の起請誓紙	229
武田家臣団における中沢衆	223

(三) 武田氏の郷村支配と在地の動静……………三三六

1 知行と軍役……………三三六

検地と貫高制 236 軍役負担 239

2 諸負担と百姓の抵抗……………三四〇

年貢・段銭・棟別銭 240 欠落百姓と召返し 243

3 郷村間の紛争と武田代官……………三四四

上穂郷原野入会に関する「定」244 南山御問答と「中人」制 245

天竜川原での草間問答 248

4 武田氏の寺社政策……………三五〇

諏訪社造営役の再興 252 軍事体制の立直しと諏訪社造営役 256

第六節 市内の中世城館跡……………三五七

一 赤穂地区の城館跡……………三五七

古城 257 荒(新)城 258 射殿城と大城 260 大北城 261

上穂城 263 塩木城 264 大田切城 265 赤須城 266

二 中沢地区の城館跡……………三七〇

高見古城 270 菅沼城 271 高見城 272 曾倉城 274 中村城 274

原城 275 吉瀬と中曾倉の城山 276

三	東伊那地区の城館跡	二七七
	稲村城 <small>いなむらじょう</small> と稲村古城	277	高田城 <small>たかだじょう</small> 278
	大久保城 <small>おおくぼじょう</small>	279	城村城 <small>じょうむらじょう</small> と城村古城
	281	青木城 <small>あおきじょう</small> 283	塩田城 <small>しおだじょう</small> 284
	箱置の秋葉様と物見ヤ城 <small>ものみやじょう</small>	286	
	別編		
	年表	駒ヶ根市の歴史(古代・中世・近世)
	凡例	二六七
	あとがき	二六九